



2024年5月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月8日

上場会社名 株式会社クリエイトSDホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3148 URL <http://www.createsdhd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣瀬泰三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 山崎哲也 (TEL) 045 (914) 8241
 定時株主総会開催予定日 2024年8月23日 配当支払開始予定日 2024年8月26日
 有価証券報告書提出予定日 2024年8月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期の連結業績(2023年6月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期	422,330	10.9	20,227	7.0	20,882	7.5	13,691	5.9
2023年5月期	380,963	8.6	18,912	4.1	19,428	4.1	12,925	2.6

(注) 包括利益 2024年5月期 13,967百万円(6.5%) 2023年5月期 13,121百万円(4.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年5月期	215.61	215.61	11.1	10.2	4.8
2023年5月期	204.46	—	11.6	10.4	5.0

(参考) 持分法投資損益 2024年5月期 一百万円 2023年5月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期	216,481	130,243	60.2	2,027.07
2023年5月期	194,941	116,409	59.7	1,841.39

(参考) 自己資本 2024年5月期 130,224百万円 2023年5月期 116,409百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年5月期	21,034	△20,207	△140	37,812
2023年5月期	18,985	△20,491	△3,034	37,126

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年5月期	—	25.00	—	27.00	52.00	3,287	25.4	3.0
2024年5月期	—	27.00	—	37.00	64.00	4,083	29.7	3.3
2025年5月期(予想)	—	34.00	—	34.00	68.00		30.3	

3. 2025年5月期の連結業績予想(2024年6月1日~2025年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	227,300	9.6	10,700	8.6	10,900	7.0	7,300	6.2	113.63
通 期	457,600	8.4	22,000	8.8	22,400	7.3	14,400	5.2	224.15

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期	66,819,342株	2023年5月期	66,819,342株
② 期末自己株式数	2024年5月期	2,576,458株	2023年5月期	3,600,857株
③ 期中平均株式数	2024年5月期	63,500,165株	2023年5月期	63,218,523株

発行済株式数に関する注記

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年5月期の個別業績（2023年6月1日～2024年5月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期	8,195	3.9	7,709	4.7	7,794	5.8	7,232	5.7
2023年5月期	7,890	2.3	7,362	1.8	7,368	2.6	6,840	2.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年5月期	113.90		113.90					
2023年5月期	108.21		-					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年5月期	60,760		60,607		99.7	943.13		
2023年5月期	53,655		53,509		99.7	846.42		

(参考) 自己資本 2024年5月期 60,589百万円 2023年5月期 53,509百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
(1) 役員の異動	15
(2) その他	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2023年6月1日～2024年5月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類移行に伴う経済活動の正常化が進み、国内景気は緩やかな回復傾向となっております。一方、資源価格の高騰による継続的な物価上昇や、実質賃金の伸び悩みによる消費マインド低下など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、人流回復、外出機会の増加に伴う化粧品需要の回復や、風邪及びインフルエンザの流行による医薬品需要の増加が見られた一方、マスクや抗原検査キットをはじめとした新型コロナウイルス感染対策商材の反動減や、継続的な物価上昇に伴う消費者の節約志向の高まり、診療報酬及び薬価改定による処方箋単価の低下、さらには業種・業態の垣根を超えた競合各社の出店や価格競争の激化、大手同士の業界再編など、当社グループを取り巻く環境は厳しさを増しております。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画の達成に向けて、調剤併設型ドラッグストアを中心とした既存エリアのドミナント深耕を継続しつつ、「生活・予防・医療・介護」の各領域において地域に貢献する総合ヘルスケアサポートを推進しております。

<ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業につきましては、資源価格の高騰による食品を中心とした継続的な物価上昇等により、消費者の節約志向および選別消費への意識が一段と高まりを見せる中、当社グループは、地域のお客様・患者様の健康と生活を支えるライフラインとして、いつ来てもお求めやすい価格で提供するEDLP(エブリデイ・ロープライス)施策を継続推進してまいりました。また、ワンストップ・ショートタイムショッピングの実現を目指し、調剤薬局の併設や、生鮮食品を始めとした食品の品揃え強化を推進し、小商圏における利便性及び専門性の向上に引き続き取り組んでまいりました。

当連結会計年度におきましては、マスクや抗原検査キット等の新型コロナウイルス感染対策商材の需要減の一方、総合感冒薬や化粧品関連の需要回復や、食品を中心とした価格訴求の強化が奏功したこと等により、既存店売上・客数は大きく伸長しました。調剤部門においては、診療報酬及び薬価改定による単価低下の影響があったものの、調剤併設店舗数の増加や、風邪、インフルエンザの流行による急性期処方の増加、コロナ5類移行による受診控えからの回復等により、処方箋応需枚数は堅調に推移しました。上記内容により売上・客数は好調に推移した一方、荒利率については前年を下回る結果となりましたが、増収効果による荒利額確保と、人件費をはじめとした販管費コントロールに取り組んだ結果、増収増益となりました。

ドラッグストアの新規出店につきましては、43店舗の出店を行いました。一方でスクラップ&ビルドにより1店舗、契約期間満了により5店舗、経営効率化の観点から2店舗の計8店舗閉鎖を行いました。調剤薬局につきましては、ドラッグストアへの併設調剤薬局を47店舗、医療モール併設の調剤専門薬局を1店舗開局しました。

<介護事業>

介護事業につきましては、高齢化が進む中、介護スタッフのもと安心・安全に生活したいという高齢者の方のために、美味しい食事が特徴の介護付有料老人ホームを2施設、またいつまでもご自宅で暮らしたいという方のために、リハビリを専門とする半日型のデイサービスセンター37施設を運営しております。有料老人ホーム、デイサービスとも、当社グループの特徴である接遇に力を入れ、ご利用者様の満足度向上及び稼働率の向上を図ってまいりました。

以上により、当連結会計年度末の当社グループの店舗数はドラッグストア752店舗、食品スーパー2店舗、ドラッグストア複合の生鮮食品専門店4店舗、調剤薬局は調剤専門薬局38店舗、ドラッグストアへの併設調剤薬局380店舗の合計418店舗、介護事業では介護付有料老人ホーム2施設、半日型デイサービスセンター37施設となりました。

これらの結果、当連結会計年度における業績は、売上高422,330百万円(前年同期比10.9%増)、営業利益は20,227百万円(前年同期比7.0%増)、経常利益は20,882百万円(前年同期比7.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は13,691百万円(前年同期比5.9%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産合計は216,481百万円となり、前連結会計年度末に比べて21,540百万円増加いたしました。主な要因は、売掛金が2,118百万円、商品が3,518百万円、新店及び出店準備物件の増加等に伴い固定資産が13,983百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は86,238百万円となり、前連結会計年度末に比べて7,706百万円増加いたしました。主な要因は、買掛金が5,872百万円、未払法人税等が57百万円、長期資産除去債務が346百万円増加したことなどによるものです。

純資産は130,243百万円となり、前連結会計年度末に比べて13,833百万円増加いたしました。主な要因は、配当金支払により3,413百万円減少、新株予約権の行使により資本剰余金が2,011百万円増加、自己株式が1,249百万円減少、親会社株主に帰属する当期純利益13,691百万円を計上したことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は37,812百万円となり、前連結会計年度末に比べて686百万円増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は21,034百万円（前年同期比2,049百万円の収入増）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益19,352百万円、減価償却費4,995百万円、減損損失1,284百万円、法人税等の還付837百万円であり、支出の主な内訳は売上債権の増加2,118百万円、棚卸資産の増加3,578百万円及び法人税等の支払額が7,074百万円等の結果であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は20,207百万円（前年同期比284百万円の支出減）となりました。これは主に出店に伴う有形固定資産の取得による支出15,772百万円、貸付けによる支出792百万円、出店仮勘定による支出3,960百万円等の結果であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は140百万円（前年同期比2,893百万円の支出減）となりました。これは配当金の支払額3,413百万円、自己株式処分による収入3,250百万円等の結果であります。

（資本の財源及び資金の流動性）

当社グループの資本の財源及び資金の流動性については、主に営業活動により得られた資金を新規出店に係る設備投資に充当しております。

(4) 今後の見通し

次期連結会計年度におけるわが国経済は、経済活動の緩やかな回復が期待される一方、原材料価格・エネルギー価格の高騰や、物価上昇の継続及び実質賃金の伸び悩みによる消費マインドの低下等、依然として先行きは不透明な状況が続くと予想されます。

ドラッグストア業界におきましても、業界の垣根を越えたより一層の競争激化や業界再編の動きの活発化、診療報酬・薬価改定による押下げリスク等、厳しい経営環境が続くと想定されます。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画の達成に向けて、調剤併設型ドラッグストアを中心とした出店を継続し、強固なドミナント形成によるエリア内でのシェアアップを引き続き推進してまいります。

ドラッグストア部門においては、消費者の節約志向の高まりに対応し、食品を中心とした価格訴求を継続推進し、客数および買上点数増を図りつつ、ヘルス&ビューティを中心とした販売強化や、プライベートブランド商品の開発・リニューアル等、荒利率のコントロールに取り組んでまいります。調剤部門においては、調剤併設の推進に加え、薬剤師の対人業務強化、近隣医療機関との連携、電子処方箋応需に向けた体制整備等、かかりつけ機能の強化に取り組み、地域のお客様・患者様に選んでいただける店舗・薬局を目指してまいります。また、ローコストオペレーションを徹底し、人件費をはじめとした経費抑制に努めることで、経常利益率5.0%の水準維持を目指します。

以上により、2025年5月期の業績につきましては下記のとおり予想しております。

2025年5月期の業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通期	457,600	22,000	22,400	14,400

(参考) 予想1株当たり当期純利益 224円15銭 予想期中平均株式数 64,242,884株

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の実績は、様々な要素によりこれら業績予想とは異なることがあります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,526	38,212
売掛金	13,312	15,431
商品	38,497	42,015
貯蔵品	55	115
その他	10,239	11,415
流動資産合計	99,631	107,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	49,271	60,364
減価償却累計額	△21,509	△23,870
建物及び構築物(純額)	27,762	36,493
土地	25,211	27,274
建設仮勘定	—	3,019
その他	27,119	29,582
減価償却累計額	△22,261	△24,189
その他(純額)	4,858	5,392
有形固定資産合計	57,832	72,180
無形固定資産		
のれん	473	372
その他	1,055	770
無形固定資産合計	1,529	1,142
投資その他の資産		
投資有価証券	183	182
長期貸付金	9,654	10,024
繰延税金資産	6,394	6,878
敷金及び保証金	11,576	11,939
その他	8,180	7,002
貸倒引当金	△40	△60
投資その他の資産合計	35,948	35,967
固定資産合計	95,310	109,290
資産合計	194,941	216,481

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	50,485	56,357
契約負債	3,580	3,600
未払法人税等	3,386	3,444
賞与引当金	378	387
役員賞与引当金	145	157
ポイント引当金	171	160
資産除去債務	89	6
店舗閉鎖損失引当金	8	36
その他	11,907	13,374
流動負債合計	70,152	77,524
固定負債		
退職給付に係る負債	3,310	3,234
資産除去債務	3,579	3,925
転貸損失引当金	30	24
その他	1,459	1,529
固定負債合計	8,379	8,714
負債合計	78,532	86,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	934	2,945
利益剰余金	118,741	129,019
自己株式	△4,393	△3,144
株主資本合計	116,282	129,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	39
退職給付に係る調整累計額	87	363
その他の包括利益累計額合計	126	403
新株予約権	—	18
純資産合計	116,409	130,243
負債純資産合計	194,941	216,481

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
売上高	380,963	422,330
売上原価	277,975	312,143
売上総利益	102,987	110,187
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	171	160
給料及び手当	34,243	36,131
貸倒引当金繰入額	—	21
賞与引当金繰入額	349	387
役員賞与引当金繰入額	140	153
退職給付費用	826	777
減価償却費	4,195	4,847
地代家賃	16,647	17,385
その他	27,502	30,095
販売費及び一般管理費合計	84,075	89,959
営業利益	18,912	20,227
営業外収益		
受取利息	89	85
受取配当金	1	1
固定資産受贈益	34	30
受取賃貸料	328	364
補助金収入	89	166
その他	173	186
営業外収益合計	716	835
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	—	1
支払補償費	2	5
賃貸費用	166	163
商品廃棄損	20	—
その他	11	10
営業外費用合計	200	180
経常利益	19,428	20,882
特別利益		
補助金収入	9	73
その他	—	1
特別利益合計	9	74
特別損失		
固定資産売却損	—	26
減損損失	744	1,284
店舗閉鎖損失引当金繰入額	8	36
固定資産除却損	—	165
固定資産圧縮損	9	73
その他	13	18
特別損失合計	776	1,604

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
税金等調整前当期純利益	18,661	19,352
法人税、住民税及び事業税	6,116	6,250
法人税等調整額	△381	△588
法人税等合計	5,735	5,661
当期純利益	12,925	13,691
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	12,925	13,691

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
当期純利益	12,925	13,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	0
退職給付に係る調整額	179	275
その他の包括利益合計	195	276
包括利益	13,121	13,967
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	13,121	13,967
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000	934	108,850	△4,393	106,391
当期変動額					
剰余金の配当			△3,034		△3,034
親会社株主に帰属する当期純利益			12,925		12,925
自己株式の取得				△0	△0
新株予約権の行使					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	9,891	△0	9,891
当期末残高	1,000	934	118,741	△4,393	116,282

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	23	△91	△68	—	106,323
当期変動額					
剰余金の配当					△3,034
親会社株主に帰属する当期純利益					12,925
自己株式の取得					△0
新株予約権の行使					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	15	179	195	—	195
当期変動額合計	15	179	195	—	10,086
当期末残高	39	87	126	—	116,409

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000	934	118,741	△4,393	116,282
当期変動額					
剰余金の配当			△3,413		△3,413
親会社株主に帰属する当期純利益			13,691		13,691
自己株式の取得				△0	△0
新株予約権の行使		2,011		1,249	3,261
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	2,011	10,277	1,249	13,538
当期末残高	1,000	2,945	129,019	△3,144	129,821

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	39	87	126	－	116,409
当期変動額					
剰余金の配当					△3,413
親会社株主に帰属する当期純利益					13,691
自己株式の取得					△0
新株予約権の行使					3,261
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	0	275	276	18	295
当期変動額合計	0	275	276	18	13,833
当期末残高	39	363	403	18	130,243

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	18,661	19,352
減価償却費	4,351	4,995
減損損失	744	1,284
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	19
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21	8
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	12
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	6	△10
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△6	△6
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	8	36
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	418	322
受取利息及び受取配当金	△90	△87
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,154	△2,118
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,878	△3,578
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,256	5,872
前受金の増減額 (△は減少)	277	240
その他	△746	924
小計	24,867	27,268
利息及び配当金の受取額	3	3
法人税等の支払額	△6,684	△7,074
法人税等の還付額	798	837
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,985	21,034
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,959	△15,772
無形固定資産の取得による支出	△346	△45
長期貸付けによる支出	△559	△792
長期貸付金の回収による収入	1,022	1,076
投資有価証券の売却による収入	—	2
長期前払費用の取得による支出	△117	△338
敷金及び保証金の差入による支出	△149	△233
敷金及び保証金の回収による収入	133	177
出店仮勘定による支出	△4,426	△3,960
供託金の預入による支出	△88	△310
その他	△1	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,491	△20,207
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△3,034	△3,413
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	—	3,250
その他	—	22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,034	△140
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,541	686
現金及び現金同等物の期首残高	41,667	37,126
現金及び現金同等物の期末残高	37,126	37,812

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ドラッグストア事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
1株当たり純資産額	1,841円39銭	2,027円07銭
1株当たり当期純利益	204円46銭	215円61銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	215円61銭

(注) 1 前連結会計年度においては、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	12,925	13,691
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	12,925	13,691
普通株式の期中平均株式数(株)	63,218,523	63,500,165
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	1,638
(うち新株予約権(株))	(—)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		—

(重要な後発事象)

(自己株式を活用した第三者割当による第2回および第3回新株予約権(行使価額修正条項付)の取得並びに消却)

当社は、2024年6月3日開催の取締役会において、2023年11月22日にEVO FUNDを割当先として自己株式の充当を前提に発行した第1回乃至第3回新株予約権のうち、第2回分および第3回分の全て(以下「本新株予約権」という。)を、2024年6月18日に取得し、2024年6月30日に消却することを決議いたしました。

1. 取得および消却する本新株予約権の概要

(1) 新株予約権の名称	① 株式会社クリエイトSDホールディングス第2回新株予約権 ② 株式会社クリエイトSDホールディングス第3回新株予約権
(2) 取得および消却する新株予約権の数	① 10,170個 ② 12,000個
(3) 取得価額およびその総額	① 新株予約権1個あたり770円、総額7百万円 ② 新株予約権1個あたり635円、総額7百万円 合計15百万円
(4) 取得日	2024年6月18日
(5) 消却日	2024年6月30日
(6) 消却後に残存する新株予約権の数	① 0個 ② 0個

2. 本新株予約権の取得および消却の理由

当社は、2023年11月6日付「自己株式を活用した第三者割当による第1回乃至第3回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行及び新株予約権買取契約の締結に関するお知らせ」(以下「2023年11月6日付開示」という。)に記載のとおり、新店投資及び物流施設投資のための資金調達を目的として、自己株式を充当する第三者割当により2023年11月22日に第1回新株予約権および本新株予約権を発行いたしました。割当先であるEVO FUND(Cayman Islands、代表者:マイケル・ラーチ、リチャード・チゾム)は、当社との合意事項に基づき細心の注意を払いながら、新株予約権の行使を進めました。その結果、新株予約権の行使は想定よりも順調に進み、13,838個(1,383,800株)の行使により累計4,449百万円の調達ができました。

当社は、2023年11月6日付開示に記載のとおり、今後も更なる事業規模拡大と業績向上により持続的な成長を目指しており、資金需要については変更ないものの、当面の資金の用途が立ったことから、本新株予約権の発行要項に従い、残存する本新株予約権の全部を取得しこれを消却することといたしました。

今後の新たな資金ニーズに対しても、株主資本コストを十分意識した最適な資金調達を目指して参ります。

3. 今後の見通し

本新株予約権の取得及び消却が当社の業績に与える影響は軽微であります。

4. その他

(1) 役員の異動

開示内容が定まった時点で開示いたします。

(2) その他

(仕入及び販売の状況)

①商品部門別売上実績

商品部門の名称	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)	
	金額(百万円)	前年同期比 (%)
ドラッグストア事業		
医薬品	111,686	106.8
OTC	61,169	100.1
調剤薬局	50,517	116.2
化粧品	47,768	107.3
食料品	176,791	116.5
日用雑貨品	62,070	108.9
その他	19,598	108.9
小計	417,915	111.1
スーパーマーケット事業	2,078	74.9
介護事業		
有料老人ホーム	701	101.7
デイサービス	1,467	105.9
小計	2,169	104.5
顧客との契約から生じる収益	422,163	110.8
その他の収益(注)	167	147.6
合計	422,330	110.9

(注) 1. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入が含まれております。

②地区別売上実績

当連結会計年度における売上実績を地区ごとに示すと、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)		当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
神奈川県	235,809	61.9	258,601	61.2
東京都	55,224	14.5	59,593	14.1
静岡県	41,903	11.0	45,988	10.9
千葉県	28,586	7.5	36,540	8.7
その他	19,439	5.1	21,605	5.1
合計	380,963	100.0	422,330	100.0

③仕入実績

当連結会計年度における仕入実績を商品部門ごとに示すと、次のとおりであります。

商品部門の名称	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)	
	金額(百万円)	前年同期比 (%)
ドラッグストア事業		
医薬品	66,467	108.1
OTC	35,376	98.9
調剤薬局	31,090	120.8
化粧品	30,699	107.5
食料品	153,637	117.1
日用雑貨品	45,807	110.7
その他	15,472	108.9
小計	312,083	112.8
スーパーマーケット事業	1,560	75.0
介護事業		
有料老人ホーム	—	—
デイサービス	—	—
小計	—	—
顧客との契約から生じる収益に対する仕入	313,644	112.5
その他の仕入に対応する仕入	—	—
合計	313,644	112.5